



秋の味覚を堪能

日高「秋」の味覚フェア&北海道オールドカーフェスタ

10月15日、道の駅樹海ロード日高で日高「秋」の味覚フェアが開催されました。

ヤマベの唐揚げや天むす、地元で採れた秋野菜、地元食材等を使ったお好み焼き、タコをふんだんに使ったタコおこわ、また、日高近海の高産物販売など、日高の旬の味覚を楽しもうと、町内外より約1,500人が訪れました。

同時開催となった北海道オールドカーフェスタでは、昭和の時代に活躍した名車や、懐かしい旧車など、約120台が集まり、オールドカーファンのみならず、イベントに訪れた来場者を楽しませました。



平成30年度全道少年(U-11) 8人制サッカー大会

エストレヤが苫小牧地区代表に!

10月14日から15日にかけて、全道少年(U-11) 8人制サッカー大会苫小牧地区予選が苫小牧緑ヶ丘公園サッカー場で開催されました。

大会は1試合3ピリオドのリーグ戦形式行われ、1ピリオド8名、2ピリオド8名では同じ選手が試合にでることができないルールのため、最低16名の選手で試合が行われました。

町内のサッカークラブ「エストレヤ」(長谷川大樹監督)は苫小牧のチームと合同参加し見事勝ち進み、来年4月に行われる全道大会の出場枠を獲得しました。



第78回菊花賞

キセキがG I 競走初勝利

10月22日、京都競馬場で開催された中央競馬G I 競走、第78回菊花賞で福満の下河辺牧場生産馬キセキ号が優勝し、牧場にはたくさんの関係者が訪れて祝福しました。

レースは前週から続く雨の影響から不良馬場の状態で開催されましたが、キセキ号の持ち前の力強い脚で2着馬に2馬身差を付け優勝し、初のG I 競走制覇が菊花賞というビッグタイトルでした。



安心して暮らせる地域づくりのために

福祉講演会を開催

10月20日、門別公民館で名寄市立大学保健福祉学部社会福祉学科忍正人准教授を講師に招き、「一人ひとりが自分らしく安心して暮らせる地域づくりのために」と題して、講演会が開催され、町民等約50名が参加し、熱心に耳を傾けていました。

参加者からは「これからの高齢者支援は介護保険だけでは賅いきれなくなることが分かった」、「福祉関係者だけではなく町全体で取り組まなければならない課題であることを認識した」等の声も聞かれました。



団体・個人から800点超の展示作品

日高地区町民文化祭開催

10月28日、29日、日高町民センター及び総合体育館で第12回日高地区町民文化祭が開催されました。日高小学校・日高高校を含め19団体と個人から、陶芸、写真、手芸など800点を超える展示作品が出品され、29日には幼児から高齢者まで9団体と個人の35プログラムによる芸能発表会が開催されました。発表会の最後は日高高校産業学習生による日高地区伝統芸能「日高山岳太鼓」の勇壮な撥さばきに200名を超える観客から大きな拍手と歓声が送られました。



事前に徹底した準備を！

門別ししゃも祭り会場で警察と消防による合同訓練

10月28日、門別ししゃも祭りを翌日に控えた会場で、警察と消防による合同訓練が実施されました。

会場内で異臭騒ぎが起き、負傷者が出たという想定で、実際に防護服を身に付けた状態で行われました。

事前に訓練することは重要なことですが、屋外での合同訓練は珍しく非常に有意義な訓練となりました。



開校120周年記念

厚賀小学校が記念研究会

11月2日、日高町教育研究指定校事業とタイアップした「厚賀小学校開校120周年記念自主公開研究会」が開催されました。

町内外の教職員合わせて約40名が参加し、研究発表及び3年生と5年生の算数科の授業が公開され、研究協議が行われました。厚賀小学校単独で研究会を開くのは120年の歴史の中で初めてで、工藤校長は、「これからの子どもに求められる、主体的・対話的で深い学びを提案する授業を検証することができ、厚賀地区の子どもたちのために良い機会となった。」と話されました。



第156回天皇賞・秋

キタサンブラックが天皇賞・春秋連覇

10月29日、東京競馬場で開催された中央競馬GⅠ競走、第156回天皇賞・秋で福満のヤナガワ牧場生産馬キタサンブラック号が優勝し、牧場にはたくさんの関係者が訪れて祝福しました。

キタサンブラック号はこの春に開催された天皇賞・春でも優勝しており、同一年の天皇賞の春秋連覇は史上5頭目の快挙となりました。

年内で引退を表明しているキタサンブラック号ですが、残りのレースにも大きな期待が寄せられています。